

# モニター通信 No. 4

皆さんから寄せられた「モニター通信 1 1 月分」を紹介します。

## 「お店の使い分けについて」

～ドラッグストアや食品スーパー、専門店など様々な店舗があります。

あなたはどのように使い分けていますか。～

### モニターから No. 1

毎日の買い物は、近所の食品スーパーでほとんど食材について済ませています。私の家の周りには6軒の食品スーパーと併設しているドラッグストアがあるので、生活上の利便性が非常に良い場所だと思っています。また各スーパーのチラシについても、値段の比較が容易に出来るので経済的です。そのようなことで我が家は買い物に便利でよい所だと自負しています。また食品スーパーによっては、賞味期限が今日とか明日の品物については半額とか2割引で販売している店舗もあるので、結構家計上助かっています。

ただ考えるに車で品物を買に行った場合、その品物が安く販売されていたとしても、車のガソリン代とか所要時間を考えた場合、果たして安い買い物だったのか自問自答しながら、適切な買い物の対応を考慮しているところです。今後も無理の無い適切な買い物に十二分に意を払って行動したいと思います。

### モニターから No. 2

自宅から歩いて買い物ができる場所にスーパーやドラッグストアがあるので、食料品や日用品についてはほぼ毎日必要な分を必要なだけそこで買っています。ただそこにはオーガニックの緑茶や気に入って使っているシャンプーなどはありません。それらがなくなりそうになると他の店に車や自転車で買いに行くこととなります。加工食品や冷凍食品、お菓子などについては、同じものがスーパーにもドラッグストアにも並んでいるので、どちらで買うかは値段を比べてみたり、ポイントがたくさんつく日を考えて買う店を決めます。

多くの店があってどこで買うか、選択の幅が広いことはいいことだと思いますが、それも車があることです。高齢になり車を運転できなくなると、一挙に選択の幅が狭くなります。土浦市内でも、数年前からスーパーの移動販売車を見かけるようになりました。あるホームセンターでは、お買い物支援の無料送迎バスがあります。高齢化に伴い、買い物弱者は増えていくことが予想されます。移動販売車や無料送迎バスのようなサービスは、更に拡大していくのではないのでしょうか。

### モニターから No. 3

わたくしたちは太平洋戦争終了後、80年経過し色々な経験をしました。その中で食糧に関しては断トツの経験を持っています。戦後の何にもない世界からどうやって生きていくかをみんなが悩みました。特に食糧については、おいしくたくさん食べられる物には戦争状態でした。こ

うした経験を本会員は皆さんお持ちです。その中でわたくしたちは毎日の買い物には先ずは食料を考えました。家族の好みを中心に、新聞についてくる各お店の広告には目を見張ったものです。選択は食料品・洗剤・衣類・が主です。

お店についても

- ・ドラッグストアの食品・菓子・特売品
- ・食品スーパーの肉・魚・野菜などの特売品
- ・専門店のお土産品・衣類・お歳暮・特売品

などから選択します。毎日のお店の選択にはその一日の勝敗に係るので、真剣に良くて安い品物の購入をめざします。お店の使い分けについては次により実施しています。

- ① 広告ビラから食料品の一番安いお店を選定する。
- ② 食料品以外ではお店の値段と販売場所を考慮して選定する。
- ③ 広告ビラの第一面にお店の意気込みが感じられるので十分注意します。

お店については以上を頭に入れて買い物します。ここで注意することは、土浦市近辺では人口が増加してきている傾向から、地域別に各専門店が固まって存在しているので買いやすいけど、品物の安さに注意が怠りがちです。以上、当地域の買い物店について感じた事を述べましたが、当地域も他県並みに人口増加が考えられるので、ブロック別専門店の販売状況について確認して、楽しくマイカーによる買い物を進めていくことが必要と考えます。

これからも夫婦、家族、揃って楽しく買い物をしましょう。

#### モニターから No. 4

賢い消費者になるには、情報に流されない行動をとり、すぐに決めずに色々と見て歩き値段だけにはとらわれず、自分自身の思う所を主張できるよう勉強し、環境にやさしい商品を選んだり、地元で取れた物を買うとか、節約やサービスを良く考えた消費をし、より良い生活が送れるように心がけたいと思っています。

とは言え、近くて安いスーパーをつい選んでしまい、ひどい商品を買ってしまう事もたびたびあります。大型スーパーはポイントが多く付く店、そして魚や肉が安い店などを選んで買い物をするようにしています。野菜・くだもの等は、地元でやっている直売所なるべく買うようにしています。専門店は、ファッション・電化製品・書籍・スポーツ用品、何でもそろい専門知識を持ったスタッフがアドバイスをしてくれて、安心して良い物を買うことができます。特定の食材や材料を絞ることで廃棄ロスを減らし、仕入れコストを抑えているそうですが、いまいちかかと思えます。品揃えが豊富なので私達はすぐにとび付きます。値段的には常に利用することは考えてしまいましたが、他の店とは違い、いつも客が集まりにぎわっています。

お財布を気にせず、欲しい物を何でも買い、食べたい物を食べ、行きたい所へいつでもどこへでも行けるという生活をしてみたいですね。大変な世の中ですが、これを乗り越えて楽しい生活ができるよう色々考えて頑張っています。

#### モニターから No. 5

我が家には幼児がいる。買い物に行くと、いかに周りの方々に迷惑をかけないかと、とても神経を使う。家族に子供を見てもらう時もあるが核家族な為、毎回という訳にはいかない。その為、1回で買い物が済む総合スーパーに行ったり、宅配スーパーを利用する事が多い。その他

足りない物はドラッグストアで済ますようにしている。最近のドラッグストアはちょっとした生鮮食品まで取扱がありとても便利だ。

つい先日、市内に古くからある和菓子屋さんのお団子を頂いた。長年続いているのが納得できるとても美味しいお味だった。土浦市に住んで10年近くなるがその様な古くからあるお店にはほとんど行った事がなかった。調べると古くから続いているお店がまだまだありそうだ。今後はその様なお店を見つけ地域にも貢献したいと思う。

#### モニターから No. 6

今回、消費生活展にボランティアとして参加させていただきましたので、その感想を書きたいと思います。私が以前に参加した時と変わっていたことは、仕事にスリッパの受け渡しが変わったことです。シフトが生まれ、時間ごとに担当が変わるというものでした。管理する側としてはやりやすかったと思いますが、私は最終のスリッパ担当だったので、帰りの人でごった返す現場の作業が最後までありました。担当の方が見回りをしていたにもかかわらず、代わりますとか、もうそこで切り上げて下さい等の声は、一切かかりませんでした。私がセンターのブースに戻った時には、すべての職員の方がそろっていて逆に驚いたくらいです。

あくまで私達は、お手伝いとして参加したボランティアです。せめて終了の30分前には、もう切り上げて下さいとか、あとは職員でやりますとかの一声があってもよかったですと思います。さらに景品コーナーは色分けされていなかったのでも、途中参加すると何を渡していいのかわからず、右往左往してしまいました。景品がなくなりましたと伝えると、その辺にありませんかと、無責任な回答があり、見回りしていたのは何のため？と思わざるを得ません。

今回は良い経験をさせていただきましたが、土浦市の一大イベントを担うからには、常にボランティアの人達に目配り・気配り、そしててきぱきとした対応を発揮していただきたいかったです。ガチガチに作成されたシフトの中で、疲れ切ったボランティアは多かったはず。シフト自体は悪いとは思いますが、もう少し改善の余地があるのではと思います。今回の反省点を踏まえて、次回の消費生活展に生かしていただきたいと思います。

#### モニターから No. 7

人間1人を維持するのに必要な衣・食・住。「衣」「住」に関しては毎日の生活に思いめぐらせなくても良いが、「食」だけは生活を維持するために必要不可欠だ。シニア3人が工夫しながら細々と暮らしている我が家は、お財布の増減も食関係の支出がほとんど占めていると思っている。

まずは、食品関係は生協の宅配に頼っている。カタログで選んで提出すると、2週間後には手元に食材が届く。当初はスーパーより価格が高く感じ、その上手元に届くのが2週間後とわずらわしく利用を控えていたが、温暖化の影響か生鮮品の価格の変動が著しく、生協価格の方が安定している事が多くなり、結局スーパー価格より安価になってきて、2週間後の到着も気にならなく今は主要食材はほとんど利用するようになっている。そうなるも価格がスーパーの特売より少々高くても味も良く感じ、若い時より量も減ってきているので量より質と購入。また玄関先まで重量物も運んでくれると、かさばる物も注文する事が多くなり重宝している。ただ野菜等の鮮度が勝負の物は、スーパーに足を運ぶこともあるが、結局スーパーに行くも特売だからとついレジカゴに入れる事が多いのも困りものだと思っている。

そのうち数年前から歩いて200メートル位のところに無人野菜売り場が出来、散歩がてら歩いてのぞく事が多くなった。やはり採れたて！！が幸いするのか、すべての野菜が新鮮だ。その上スーパー価格の半分で購入出来る。最初のうちは住宅街の中にあったので、人知れずのぞけば必ず手に入ったが、ウワサが広まったせいか時間によっては人が並んでいる事もあり、時々何もない事があり競争が激しくなっているが、ありがたい場所のひとつだ。

だが、スーパーの広告が新聞折り込みに入った日などは、つい広告につられ行ってしまうのが常で、レジカゴいっぱいにして帰宅する事も多い。シニア世代の割には冷蔵庫の中は満タンで、家計を管理出来ないのは冷蔵庫の中を見れば解ると思っているので、いつも反省の種になってしまう。あ～あ、また年末の大掃除が近づいている！！

次に「衣」。毎年衣替えの時にゴミ袋に入れしこたま捨てるが、捨てきれなかった物がまたタンスに逆戻りする。だが、結局着やすい物が2～3着あれば充分着まわしているのが現実だ。でも女性にとってのストレス解消のひとつの買い物は、見過ごせない洋服屋さんを巡ってしまう。とは言っても体型と相談しながらだと時間ばかりかかり、結局古くなった下着や靴下を補充する事で満足している。

最後に一番の大物家電品だ。いわゆる白物家電に類する物は、皆が感じる同じ時期に皆使用不可になる事が常だ。メーカー側は年数が経つと電気代が増えると唱えるが、結局使用不可になるまで買い替えない。毎回新製品が出るので型落ちしているという時を逸してしまい、あわてて電気屋に飛び込む！！2週間前にテレビを購入したと言って壊れた冷蔵庫の購入の値下げ交渉に参戦するが、あまり応じてもらえない。ああ、少しでも財布に優しい購入が出来るのか、主婦歴50年以上も経つのに解らない。この頃は若い人に負けじと、ポイ活とか言ってポイント額が増えていく事がうれしく、好きな時に購入する事でポイ活に参加。通帳の残高確認し、驚く事が多くなってきた。

母の言う「デバード」には足は向かずに、大型スーパーやショッピングモール止まりで事が済んでいるのがやっとなという所。通帳の残高気にせず生活する事が憧れだったのに。上を見てもしかたがない。庶民はスーパーで爆買いが一番幸せなのかと、へんな納得をして毎日を暮らしている。

## モニターから No. 8

住い近くには、「ドラッグストア・食品スーパー」は有るが「専門店」は無い。

◎ ドラッグストアは、鮮魚類を除いて肉類・野菜・乳製品も販売している他、冷凍食品も多数（他種類）有るので、利用頻度も多い。

同じような店が住まい近くに複数店存在すれば「多岐多様」に亙り比較検討をして購入するがわざわざ「時間や交通費（ガソリン代）」をかけて迄、遠出をする機会は、皆無になり体力の衰えを実感している。「割高・品物の劣化」を承知で近くの店舗で購入することが多くなっている。  
※運転免許証返納（車処分）で足がなくなり、近くで買わざるを得ない。（店が有るだけ有り難いと思っている）

◎ 生活協同組合の利用

加齢とともに体力が衰え「歩行・持ち運び」にも苦痛を感じる様になった。「生協」を利用して「重い物・大きなもの」は、ここで優先的に購入している。生協の品物は「確かなもの（新鮮で品物が良い）」で有り難いと思っているが、単価が割高となっているように思われる。宅配・

自宅迄の配送等を考慮すると仕方がないと思われる。(健康時の有り難味を回顧している。)

#### ◎ コンビニエンスストアの利用

至近距離に「コンビニエンスストア」が、点在しているが「毎日の食としての利用」は、ない。緊急の場合のみでその利用頻度は皆無に近い。大型スーパーと比較すると割高で品数も少ないが大きな理由になっている。

#### ◎ 出張販売店の利用 (月に2回施設内敷地に、移動店舗がやってくる)

外出が制限されている人の利用は多いが、その他の人は利用しない。又、他の店舗と比較すると幾分割高となっている。(移動費が加算されるので仕方がない)

### モニターから No. 9

お店の使い分け、日常的に、特に考えることもなくやっています。こういうものはあそこ、ああいうものはこちら、自然と体が向かってしまうのは、どなたもなさっていることでしょう。特殊なものでなく、日常的に使うもので、同じメーカーの同じものだから、ということでも、店により値段が違うから、ここで買うと決めてある。それぞれの店は、仕入れのルートが決まっていてそのルートを変更するという事はほとんどないのであろう。だからこういう製品はこの店で買うと決めておいて損はない。

生鮮食品の場合も同じで、魚は肉は野菜はフルーツはと、ひとつの店で買うよりその店にもともと入っている魚屋・肉屋・八百屋があるらしく、どこでも一応に品ぞろえはあるけれど何か異なる。それを、適切に利用したいと思って、いくつかのスーパーマーケットを使い分けている。ここのタマゴがいい、お豆腐はここで、魚は目の前で調理してもらってなど、昔の、スーパーマーケットでないときの買い物を楽しんでいきます。

### モニターから No. 10

十数年前になります。仕事帰りの通り道には食料品、日用品、薬局、銀行、郵便局など、一カ所で済ませる事が出来るショッピングセンターがありました。本当に便利で、クタクタになりながらのお買い物も、用事はかなり助けられていました。ところが最近帰り道にはこのタイプの商業施設はほとんど無くなってしまい、お買い物にはお店の使い分けは日常になっています。

今は毎日、食料品は帰り道にあるスーパーマーケットでします。陳列も頭に入っていて、早く帰りたい気持ちに、無駄のない動線ができています。しかし日用品、ドラッグ類は価格も少し割高になっているので、ホームセンター、ドラッグストアに足を運び、休日にまとめ買いをします。15%引きのクーポンを活用して、ポイントも貯まります。物価高の昨今にはかなりお得です。

衣料品はお気に入りのブランドがあり、良い品を出来るだけ安く、ネットであったり、専門店を訪れます。長く着る為にも楽しみながらの購入です。嗜好品として、コーヒーは大好きなのでカフェにはよく出かけます。自分にとって居心地の良い空間を探して、リフレッシュすると次の日、次の週の頑張りにつながります。大まかですが、こんな感じでお買い物は分けています。

### モニターから No. 11

昨今、ドラッグストアを利用する頻度が増えています。医薬品や化粧品はもとより、洗剤・トイレットペーパーなどの日用品の品揃えが豊富で、価格もスーパーに比べて安価な商品が多いです。また、牛乳・豆腐などの日配品も常時、価格が安い印象です。近年、野菜や果物、肉など

の生鮮食料品の取り扱いのあるドラッグストアが増えました。度々利用するドラッグストアは、野菜や果物、肉などの品揃えが充実しています。ドラッグストアの利用だけで必要なものがほぼ手に入るの、利用する機会が増えています。大手スーパーに比べて、レジで並ばずに会計できるところも時短になると感じられます。ポイントが大幅に付与される日に利用することで、賢く節約できることは物価高騰が続く昨今、消費者の大きな助けになっていると感じられます。また、毎月20日にポイントが1.5倍の価値で利用できるシステムが人気を博している別のドラッグストアも利用することが多いです。アプリでの10%オフのクーポンの配信、会計時に時折配布をしている紙の割引のクーポンの存在も、頻りに足を運ぶきっかけになっています。

一方で、野菜・果物・地域の特産品については農産物の直売所も利用することがあります。採れたての地場産の野菜や果物、霞ヶ浦のわかさぎ、えびなどを使った佃煮など、地域の特産品も新鮮で手頃な価格で購入できます。地元産の食材を購入し地産地消を意識することは、地域の活性化にも繋がるのではないのでしょうか。

最後に主に刺身や魚・肉を購入する際には、鮮度や品質を重視して、多彩な品揃えがあるスーパーを利用しています。総菜の品揃えも豊富なのも、ドラッグストアにはない魅力があります。用途に応じて、スーパー・ドラッグストア・農産物直売所を使い分けて、賢い消費者に近づけるよう心がけたいです。

#### モニターから No. 12

お店の使い分けについてですが、野菜はなるべく新鮮な物が良いのでJAや地元の産直のお店を利用。肉や魚はスーパーマーケットを利用。菓子類はスーパーマーケットの他、ディスカウントストアで買う事も多い。卵は産直で売られている黄身が濃くて白身も美味しいお気に入りの卵があるので、いつもそのブランドの卵を購入。コンビニではプログラムの印刷やコピーで利用。ドラッグストアでは傷薬や医薬品をたまに購入。ホームセンターでは鉢植えや工具や灯油を購入。

こんな感じです。

#### モニターから No. 13

この物価高の世の中になり、お店の使い分けをするようになりました。以前は一度に済ませるお店とか、効率重視でしたが、今はそうもいっておられず、時間の効率よりも価格の優先順位が上に。

野菜は直売所など(新鮮で安い)で、ドラッグストアでは飲み物やお菓子や日用品(スーパーよりも安いもの)スーパーではその他というように、私なりにルールを決めて使っています。ポイントも曜日によって倍になったりもするので、そちらも考えながら使い分けて賢く買い物するようにしています。

皆さんはどう使い分けしているのか。興味があるので、この機会に知れたらと思います。